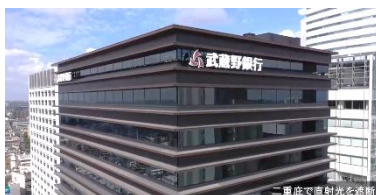


当時の周囲の方々には多大なご迷惑をかけ、今では二度と起こさぬよう自戒しております。

店頭での振り込め詐欺、直前での防止（今では警察とのホットラインがありますが、当時は店頭での防止が肝でした）についてお話します。その手口は実に巧妙で、完全に信じきってしまっている方を説得することは極めて困難です。被害を防止できた方は、口を揃えて「まさか自分が」とおっしゃいます。お気をつけ下さい。また、とある団体からの融資の申し出をお断りに行き、3時間以上のやりとり、度重なる面談、休日に自宅ポストに団体のチラシを投函されたこともあり。現行法施行以前は、店頭における様々な嫌がらせ、アタリ屋からの不当な慰謝料の請求、等々いろいろありました。が、そういう場面に出くわすとアドレナリンが出るらしく、何故か沈着冷静に対応できたものです。

振り返りますと、常にお客様・上司・先輩・同僚・部下・家族そして運に助けられ、ここまで来れたものと思っております。父は、亡くなる前日に見舞いに行った時「最近は大きな失敗はしてないか？」と最後まで不肖の息子を心配してくれました。そんな父の姿を思い出し、これからも努力していかなければと思っております。

地域のお客様とは、駒月支店長・上田支店長と共にお役に立つべく努力し、好意と友情を深めていきたい所存です。どうかこれからも、何処で会っても「ヤア」と言って頂くと幸いです。



川鍋商事 川鍋 洋子 2022年1月17日入会

高橋誠一パスト会長のご紹介で入会させていただきました。

私の祖父は、カント哲学を修めた教育者でした。祖父の記憶は全くなかったのですが、幼い頃、祖父のノートを発見しそこに書かれた美しい英文とドイツ語に魅せられ、大学で英語を勉強しました。大学卒業後は幸運にも 羽仁もと子創立の自由学園という、東京のキリスト教の学校で22年間教鞭をとりました。校舎は、アメリカの建築家フランク・ロイド・ライトとその弟子 遠藤 新氏によるもので、イギリスの庭園を思わせる美しい学園でした。

在職中に結婚し、三人の娘にも恵まれ、川鍋の母の大



いなる応援を得て、働きながら子育てをすることができました。その後、退職し、川鍋商事を立ち上げ、英会話教室を建て、第二の人生をスタートさせました。その際以前から興味があった茶道を学び始めたところ、その魅力の虜となり三十年が経とうとしています。

茶道教室を開き、最初の茶会は縁のある自由学園明日館で行いました。この建物はライト氏による物で、現在、重要文化財に指定されています。

1994年と2010年に主人は2度の脳腫瘍手術を受けましたが、医術の進歩により快復できました。茶道裏千家鵬雲斎主催の「国連の夕べ」にも参加でき、宗匠に質問して意気投合し、一緒に写真に収まることができました。



その時のことを「宗匠に意見同意と握手され 夢見心地に夏の夜は更けゆく」と短歌に詠んでいます。RI会長の田中 作次氏にも、千宗室 家元に質問したことを褒めてもらい、大層喜んでおりました。

2005年の初茶会から、年に一回のペースで茶会を開催し経験を積み重ねて、2010年には東京の好日会にて茶会開催にこぎつけました。裏千家では、西の桐蔭席、東の好日会という由緒ある茶室があります。その晴れ舞台の茶会なので、大きな喜びでした。

茶道は大寄せの茶会ばかりでなく、茶事と言って、数名の賓客を自宅の茶室にお招きし、懐石・濃茶・薄茶を差し上げおもてなしする会を重んじています。その為に日頃から研鑽を積んでいます。私も茶室披き茶事、還曆茶事、クリスマス茶事などで、多くのお客様をお招きしました。英国の貴族であるデービッド・アトキンソンさんをお招きした茶事では、利休作の茶杓を使用しましたので、「埼玉で利休様の茶杓に出合えるとは！！」と、とても喜んでおられました。

茶道は五百年前から脈々と続き、今も日本の文化として、多くの外国の方々に親しまれており国際交流に貢献しています。そして500年前の茶道具が今日に至るまで大事に引き継がれ、現存している事が驚嘆に値する事だと思います。そして私も一瞬の間、この貴重なお道具をお預かりでき、嬉しい限りです。

茶道を始め22年がたち、漸く西の横綱の京都桐蔭席で茶会を担当することができました。埼玉県人では初めてなので喜びもひとしおでした。



2018年には、品川開東閣にて立礼席を設け、各国大使、大使夫人をお招きして、英語で茶会開催しました。旧岩崎家高輪別邸、三菱開東閣はジョサイア・コンドルの設計で、バラの香り漂う西洋のお城のようでした。